

## 民族歌舞団 荒馬座公演がありました

12月22日（月）午後、上郷中学校体育館にて、PTA主催による「民族歌舞団 荒馬座公演」が開かれました。

荒馬座は、庶民が暮らしの中で生み出してきた日本の太鼓や踊りなどの民族芸能を伝えるために、首都圏を中心に活動しています。

当日は7人の団員から、太鼓や笛の音色に合わせた歌や踊りを見せていただきました。それとともに、生徒たちも手拍子やかけ声、代表の生徒による太鼓の応援などで参加しました。また、保護者や地域の方も参観されました。

講演後に生徒が書いた感想をいくつか紹介します。（一部抜粋）

### 《1年生》

- ・太鼓の演奏がおしりにひびいて、きいていてとても気持ち良かったです。獅子舞に頭をかんでもらったり、獅子舞の踊りなどすごいと思いました。特に獅子舞の人が一人で踊っていたのは人間の動きには見えなくてうわーと思いました。

### 《2年生》

- ・最後の演奏の和太鼓のとても響く音が印象的でした。獅子舞は少し怖かったです。沖縄の「エイサー」、北海道の「ソーラン節」などとても迫力がありました。ありがとうございました。

### 《3年生》

- ・地域によってさまざまな踊りがあることがわかりました。獅子舞に噛んでもらえて嬉しかったです。歌ったり、踊ったりするのは幸せを願ったり辛い仕事を紛らわしたりするためなど、それぞれだけれど、歌っていたり踊っていたりする時はどれもとても楽しそうだったのがとても印象的でした。



エイサーの様子



ステージから降りてきた獅子舞